

**A-1 保育内容**

**A-1-(1) 全体的な計画の作成**

	第三者評価結果
A① A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a b・c

所見欄

園の理念・基本方針に基づいて、年度ごとに職員全員で話し合って作成しています。
--

**A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開**

	第三者評価結果
A② A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a b c
A③ A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a b・c
A④ A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a b・c
A⑤ A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a b・c
A⑥ A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	該当なし
A⑦ A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a b・c
A⑧ A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a b・c
A⑨ A-1-(2)-⑧ 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a b・c
A⑩ A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a b・c
A⑪ A-1-(2)-⑩ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a b・c

(保育所版)

### 所見欄

保育環境については、温度・湿度を確認し、換気をこまめに行うなど配慮しています。子ども達が、より家庭的な雰囲気でごせるよう施設整備の取組に期待します。一人ひとりの子どもの生活の背景を含めて、個人差を把握・配慮し、子どもの気持ちに寄り添った保育を行っています。発達経過表を活用し、一人ひとりの発達状況にあわせて、生活習慣を身につけるよう取組んでいます。地域とのつながりをいかして、七夕集会で高齢者宅を訪問したり、園内に警察の方を招いて、ミニパトカーや子供用白バイに乗せてもらったりして交通安全の理解を深める取組などを行いました。

障がいのある子どもの保育については、担任が主となり個別支援計画を作成し、保護者・関係機関と連携して、子どもが安心して園で過ごせるよう取組んでいます。

保育時間が長くなる場合、子どもについての職員間の引継ぎは、タブレット端末で行っています。また、子どもにビデオを選んで見てもらうなど、ゆったりと過ごせるよう配慮しています。

就学に向けては、アプローチカリキュラムに基づき、就学が楽しみになるよう保育を行っています。保護者と個別面談を行い、就学に向けての生活の見直しや留意点などを確認し合う機会を設けています。小学校とは幼保連携協議会などと連携して、子どもの様子などを細かく伝え合うように取組んでいます。

### A-1-(3) 健康管理

	第三者評価結果
A⑫ A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a b・c
A⑬ A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a b・c
A⑭ A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a b・c

### 所見欄

保健計画、健康管理マニュアルに基づき、子どもの健康管理を行っています。入園時に保護者に既往症・予防接種歴などを記入してもらい、在園中は担任が追加記入しています。入園時のオリエンテーションでは、子どもの健康に関する園の方針を保護者に説明するとともに、毎月の保健だよりや掲示で情報提供しています。SIDSについては、1歳児は10分おき、2歳児は15分おきにブレスチェックをして、タブレット端末に記録しています。

保護者が記入した問診票をもとに育ちの確認をしています。年2回の健康診断(内科・歯科)、年1回の尿検査(3歳以上)、毎月の身体計測を行って、児童票に記載しています。健康診断の結果は保護者に配布しています。

主管課作成のアレルギー対応マニュアルを配布し、職員に周知しています。また対応が必要な子どもについての情報は、職員会・朝礼で情報共有しています。クラスの子どもにも分か

(保育所版)

りやすく伝え、クラス全体で意識するよう取組んでいます。アレルギー対応マニュアルにもとづき、医師に指示書を提出してもらい、代替食・除去食を提供しています。提供時には別トレイで区別し、チェックを行っています。

年齢別の食器の区別方法についてさらなる工夫を期待します。また事故対応訓練で職員の対応力向上に取り組んでいます。

#### A-1-(4) 食事

	第三者評価結果
A⑮ A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	○ a b・c
A⑯ A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	○ a b・c

#### 所見欄

各年齢に応じた食育計画を作成し、毎月の指導計画に取り入れています。3歳以上の子どもは、その日の献立の食材を給食室の窓から見せてもらったり、朝の会では食材を3つの食品群に分けるなど、食について知識や関心を深めるよう取組んでいます。季節ごとの野菜を栽培し、それを食べることで関心を高めています。また、毎月、特別食の日を設けて、季節を考慮した、子どもが喜ぶ盛り付けを工夫しています。コロナ感染防止対策として、パーテーション利用や、対面を避けて食事することも仕方のないことですが、少しでも楽しい食事時間になるよう工夫を期待します。

毎月、子どもの食事の様子やメニューを評価して記録し、給食室と連携を取って次の献立にいかしています。また、給食だよりを配布し、保護者にも関心を持ってもらうよう工夫しています。さらに、衛生管理マニュアルにより安全・安心に食事ができるよう取組んでいます。

#### A-2 子育て支援

##### A-2-(1) 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
A⑰ A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	○ a b・c

#### 所見欄

毎日の登降園時に家庭での子どもの様子を聞き、3歳未満児と希望する家庭とは、連絡ノートで情報交換を行っています。個別懇談や参観日では、子供の成長を共有できるよう取組んでいます。園だよりやボードフォリオで日々の保育内容を保護者に理解してもらう工夫をしています。

### A-2-(2) 保護者等の支援

	第三者評価結果
A ⑱ A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
A ⑲ A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害のある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	<b>a</b> ・b・c

#### 所見欄

日々の保育の子どもの様子など、気になることはタイムリーに送迎時に伝達するようにしています。どの職員でも保護者が相談しやすいようにコミュニケーションを図り、関係性の構築に努めています。保護者アンケートの結果からの考察として、保護者から見て、すべての職員とコミュニケーションが取りやすいわけではないのかも知れません。日々のコミュニケーションについて、さらなる取組に期待します。

虐待防止については、日ごろから職員が小さなことも気づきを報告し、情報共有するよう配慮しています。マニュアルに基づき、必要な場合には関係部署や関連機関と連携し、支援を行う体制ができています。

### A-3 保育の質の向上

#### A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
A ⑳ A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	<b>a</b> ・b・c

#### 所見欄

自己評価や人権擁護チェックリストなどによる確認を定期的に行っています。より良い保育の提供に向けて、園長は新たに保育の質の向上について話し合いを持つ機会を持ちました。議事・検討内容も文書化して、次の振り返りに活用するなど、継続的な取組に発展させることを期待します。